

# 第18回国土交通中部地方有識者懇談会 【まんなか懇談会】

## 議事次第

- 1．今後のスケジュールについて
- 2．改訂まんなかビジョン骨子（案）について

平成19年7月3日（火）

# 1. 今後のスケジュールについて

平成18年度

改訂骨子（案）

3月12日 第17回まんなか懇談会

- ・社会資本整備重点計画との整合作業
- ・政策目標の具体化
- ・主要プロジェクトの検討

平成19年度

改訂骨子  
主要プロジェクト（案）

7月3日 第18回まんなか懇談会

- ・主な施策・事業の整理
- ・改訂ビジョン（案）の検討

8月以降  
P I活動

改訂ビジョン（案）

11月頃 第19回まんなか懇談会

- ・目標値の設定
- ・施策・事業の設定（平成20～24年度）
- ・改訂ビジョンの作成

改訂ビジョン（最終とりまとめ）

3月頃 第20回まんなか懇談会

## 2 . 改訂まんなかビジョン骨子(案)について

### 【本日の論点】

#### ( 1 ) 前回提案骨子(案)の修正

記載内容の簡潔化

各政策（ 5 本柱 ）内の具体的な目標の再編

施策等の追加

など

#### ( 2 ) 追加提案

中部地方の戦略（ 選択と集中 ）と将来像

具体的なプロジェクト(案)の追記

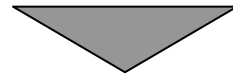
住民・企業・行政の役割分担のあり方を明示

## 2 . 改訂まんなかビジョン骨子(案)について

### 【前回のまんなか懇談会意見の方向観】

#### 【意見概要】

- ・ 社会的潮流や中部の特性を踏まえた内容構成
- ・ 総花的な印象がある
- ・ 全て同じ力配分で同時に進めることは困難



#### 【議論すべき事項】 今回の修正で考慮

- ・ 中部の独自性が見えるビジョン
- ・ 当面の成長戦略と「選択と集中」の明確化
- ・ 国際的、地理的な自立戦略を検討
- ・ 住民、企業の果たすべき役割を問うべき
- ・ 記載内容の簡潔化、明確化

# 基本理念：中部地方の将来像

## <時代の潮流>

- ・本格的な人口減少時代の到来
- ・急速な少子高齢化の進展
- ・情報通信技術の飛躍的な発展
- ・グローバル化と東アジアの経済発展
- ・価値観の多様化

## <回避すべき問題【社会問題】>

- ・地球温暖化と、自然災害の激甚化
- ・交通機能の麻痺による社会活動の低下
- ・自然環境・生活環境の悪化
- ・エネルギー危機
- ・水不足・食糧危機・産業競争力の減退の恐れ
- ・国土マインドの低下がもたらす社会の停滞
- ・地域コミュニティの衰退、地域間格差の拡大
- ・既存ストックの老朽化による本格的な更新時代の到来

## <中部地方の特性>

**日本のまんなか**

**卓越した産業集積**

**災害に脆弱な地域**

**豊富な自然や文化・歴史・  
産業資源**

**分散型地域構造**

**自動車交通への依存度が高い  
地域**

## 基本理念：中部地方の将来像

<中部地方が果たすべき責務と期待される役割>

日本のまんなか位置する責務として、他地域との交流・連携の強化を果たし、卓越したものづくり産業集積を有する中部地方の元気を持続・発展させ、わが国の経済を牽引していく役割が期待されます。

また、中部の卓越した産業集積と、万博の理念を継承した「環境先進地域」となることが、世界の持続可能な発展に貢献することが期待されます。

また、活発な経済活動ゆえのマイナス課題へ自ら解決し、全国的な課題へも率先して取り組むべき地域として期待されます。

# 基本理念：中部地方の将来像

## 中部地方の課題

巨大地震の発生や集中豪雨、台風による水害等の発生が懸念

大規模災害による日本の経済活動の停滞懸念

負の遺産ともいえる様々な環境問題

渇水による水不足や、エネルギー危機

地域の活力衰退と地域間格差の拡大

ライフスタイルニーズの多様化

# 基本理念：中部地方の将来像

時代の潮流  
回避すべき問題【社会問題】

中部地方の特性

中部が果たす  
責務と役割

中部地方の課題

中部地方の将来像

まんなかで日本をリードする中部



# 政策体系(改善案)：目指すべき将来像と具体的な目標

中部地方の将来像

## まんなかで日本をリードする中部

### 【議論過程の主なキーワード】

まんなか

日本を牽引

世代を超える

責任(安全性、産業、観光、環境、暮らし  
の全ての面で任せられる中部)

信頼(安全・安心の礎の上に  
成り立つ信頼性ある中部)

災害に強い

安全見本地域へ

活力

国際的な産業競争力

地球を助ける

人にやさしい

地球にやさしい

自然と共生

交流が活発

交わり結ぶ

人知の結集

愛着が持てる

心の豊かさを実感

暮らし豊か

生きがいを育む

# 政策体系(改善案)：目指すべき将来像と具体的な目標

中部地方の将来像

まんなかで日本をリードする中部

安全・安心

災害に強い中部

産業競争力

活力ある中部（強い産業競争力）

環境・景観

自然と共生する中部

交流・連携

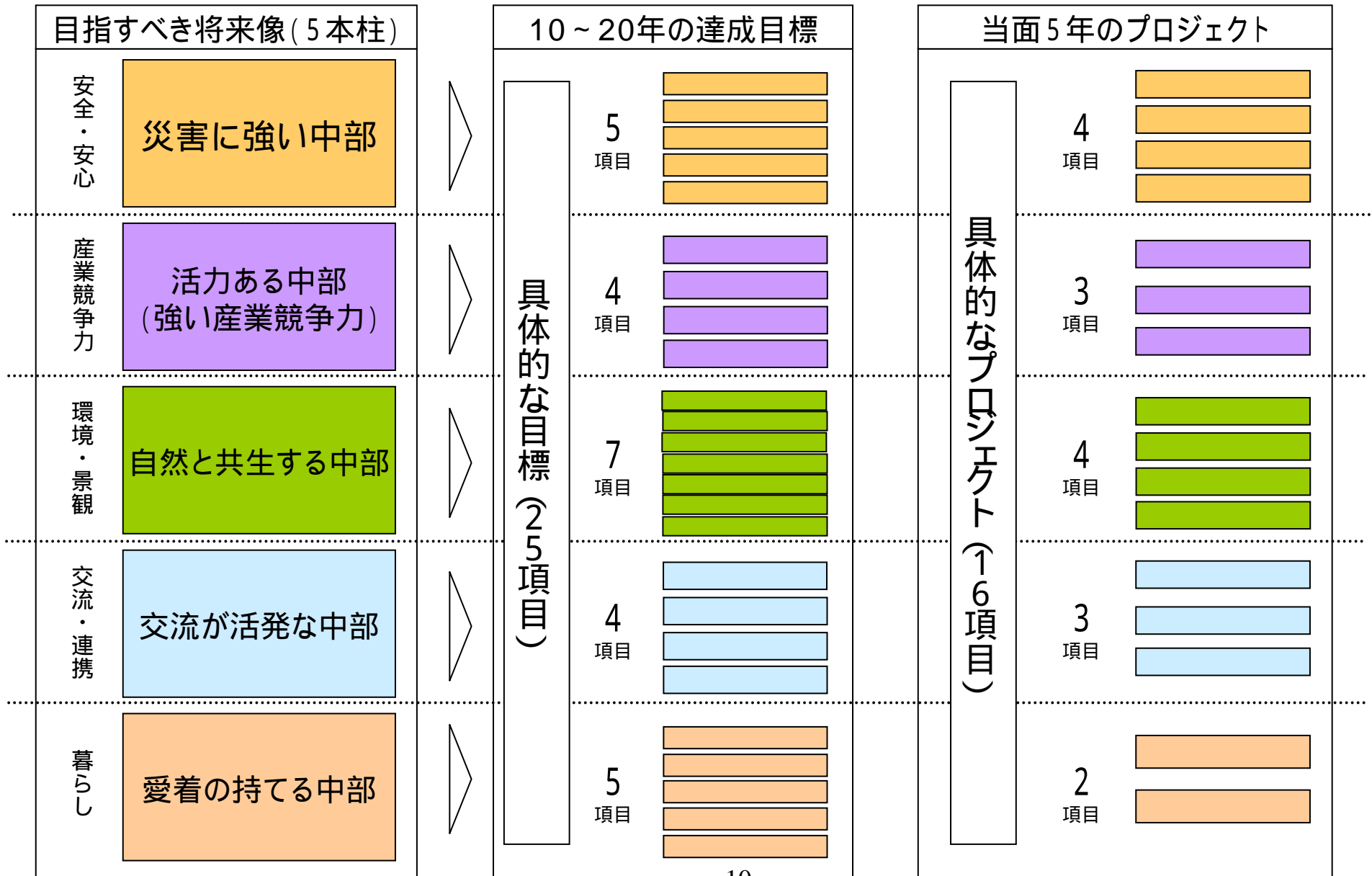
交流が活発な中部

暮らし

愛着の持てる中部

# 政策体系(改善案)：目指すべき将来像と具体的な目標

## 政策体系ツリー



## <安全・安心> 災害に強い中部

災害対策により、  
全ての社会活動の礎となる安全で安心な  
中部を形成します。

- ・自然災害（大地震、豪雨・高潮・豪雪、湯水等）の対応
- ・人的災害（大規模事故などの災害）の対応
- ・老朽化するインフラの対応

**目標** 風水害や雪害などや湯水に強い地域を構築します。

**目標** 大規模な地震にも強い地域を構築します。

**目標** 様々な災害でも寸断されることのない交通体系を構築します。

**目標** 災害・事故に係る情報提供や災害対応体制を強化します。

**目標** 既存の社会資本ストック機能を持続させます。

# < 安全・安心 > 災害に強い中部

## 具体的な向こう5 年の目標達成に資するプロジェクト（案）

目指すべき 将来像	主なプロジェクト  具体的な目標	安全・安心				
		風水害・湯水 に強い 地域づくり プロジェクト	大規模地震 に強い 地域づくり プロジェクト	防災情報、 防災体制 強化 プロジェクト	社会資本の 健全性持続 プロジェクト	
		自然災害 (地震以外)対策 主にハード	地震災害対策 主にハード	災害へのソフト 対策	交通体系の信頼性 と、インフラ 老朽化対応	
安全・安心	災害に強い中部	風水害や雪害などや湯水に 強い地域を構築します。				
		大規模な地震にも強い地域 を構築します。				
		様々な災害でも寸断される ことのない交通体系を構築 します。	施設対策 (法面等)	施設対策 (耐震化)		交通体系
		災害・事故に係る情報提供 や災害対応体制を強化しま す。				
		既存の社会資本ストック機 能を持続させます。				

## <安全・安心> 災害に強い中部

具体的な向こう5カ年の目標達成に資するプロジェクト（案）

### プロジェクト1 【風水害・渇水に強い地域づくりプロジェクト】

日本のまんなかを守る風水害対策

国土の異常な侵食、堆砂、山地崩壊の抑制

森林の荒廃抑制

雪害対策

渇水に強い地域づくり

土地利用の適正化や住まい方の工夫による被害軽減

### プロジェクト2 【大規模地震に強い地域づくりプロジェクト】

東海・東南海・南海地震等の耐震強化

津波対策

## <安全・安心> 災害に強い中部

具体的な向こう5 年の目標達成に資するプロジェクト（案）

### プロジェクト3 【防災情報・防災体制強化プロジェクト】

災害情報ネットワークの整備

適切な災害情報の提供

被災時の生活と産業活動を支える基盤づくり

耐震インフラの事前情報提供

被災時の体制強化

### プロジェクト4 【社会資本の健全性持続プロジェクト】

高規格幹線道路のダブルネットワーク化

災害・事故に強い重要交通網の保全と信頼性強化

テロ対策

既存ストックの有効活用

施設の計画的かつ効率的更新

## < 産業競争力 > 活力ある中部（強い産業競争力）

人口減少下でも、ものづくりをはじめ、  
国際的に強い産業競争力ある中部を形成します。

- ・ものづくり産業の更なる発展
- ・優れた技術、人材、知能、産業を集積

### 前回提案の5つの目標を4つに再編

#### 目標

港湾・空港を強化し、世界的に優れた国際物流ネットワークを形成します。

#### 目標

国内交通ネットワークを強化し、スムーズな移動を可能にします。

#### 目標

陸・海・空が一体となった高度な物流システムを構築します。

#### 目標

ものづくりに不可欠な水の安定確保を図ります。



# < 産業競争力 > 活力ある中部（強い産業競争力）

具体的な向こう5カ年の目標達成に資するプロジェクト（案）

目指すべき将来像		主なプロジェクト	産業競争力		
			国際ネットワーク機能強化プロジェクト	東西・南北・環状連絡機能強化プロジェクト	産業創出基盤形成プロジェクト
			港湾・空港	道路・鉄道、内航海運	産業拠点都市 学術研究都市 水の安定供給
産業競争力	（強い産業競争力） 活力ある中部	港湾・空港を強化し、世界的に優れた国際物流ネットワークを形成します。			
		国内交通ネットワークを強化し、スムーズな移動を可能にします。			
		陸・海・空が一体となった高度な物流システムを構築します。			
		ものづくりに不可欠な水の安定確保を図ります。			

## < 産業競争力 > 活力ある中部（強い産業競争力）

具体的な向こう5カ年の目標達成に資するプロジェクト（案）

### プロジェクト1【国際ネットワーク機能強化プロジェクト】

海と空の高速交通ネットワークの強化

航路の整備（海のボトルネック解消）

陸路のネットワーク整備（ボトルネック整備）・円滑化

テロ対策

物流拠点の高度化

### プロジェクト2【東西・南北・環状連絡機能強化プロジェクト】

広域交通を分担する高速交通網の整備・活用

潜在的な力を秘める「環日本海経済圏」と「中部圏」の連携強化

規格の高い幹線道路の整備

災害・事故に強い重要交通網の保全と信頼性強化

交通先進モデル都市プロジェクト

### プロジェクト3【産業創出基盤形成プロジェクト】

産業の創出に資する取り組み

国民生活、産業を支える水の安定確保

## < 環境・景観 > 自然と共生する中部

文化・歴史資源を活かすとともに、  
自然と共生する環境先進地域 中部を形成します。

- ・地球規模の環境問題への対応
- ・地域的な環境問題への対応
- ・自然や歴史・文化的景観の消滅・阻害などへの対応

**目標** 地球温暖化を抑制するため温室効果ガスの削減を推進します。

**目標** 大気環境の改善やヒートアイランドの抑制を支援します。

**目標** ごみの発生抑制・循環型社会の構築を支援します。

**目標** 美しい自然環境を保全・創出し、多様な生態系を維持・再生します。

**目標** 健全な水循環系や流砂系を構築し、持続可能な環境を創出します。

**目標** 騒音・振動などの生活環境を改善します。

**目標** 独自の地域資源を保全・再生・活用した魅力ある景観を創出します。

# < 環境・景観 > 自然と共生する中部

## 具体的な向こう5 年の目標達成に資するプロジェクト（案）

目指すべき 将来像	主なプロジェクト  具体的な目標	環境・景観				
		山・川・海の 連続性再生 プロジェクト	人と地球に やさしい 地域づくり プロジェクト	4R(アール) 実践 プロジェクト (循環型社会構築)	美しい中部づくり プロジェクト	
		流域圏の一体的 エリアへの対策	生活環境と 自然環境 エリアへの対象 (左記以外)	4R(3R+リフューズ) 自然エネルギー	景観	
環境・景観	自然と共生する中部	地球温暖化を抑制するため 温室効果ガスの削減を推進 します。				
		大気環境の改善やヒートアイ ランドの抑制を支援しま す。				
		ごみの発生抑制・循環型社 会の構築を支援します。				
		美しい自然環境を保全・創 出し、多様な生態系を維持 ・再生します。				
		健全な水循環系や流砂系を 構築し、持続可能な環境を 創出します。				
		騒音・振動などの生活環境 を改善します。				
		独自の地域資源を保全・再 生・活用した魅力ある景観 を創出します。				

## < 環境・景観 > 自然と共生する中部

具体的な向こう5 年の目標達成に資するプロジェクト（案）

### プロジェクト1 【山・川・海の連続性再生プロジェクト】

森林から沿岸地域までの水・物質循環機能を再生構築

多様な生態系の回復

水環境の改善

国土の異常な侵食、堆砂、山地崩壊の抑制

森林の荒廃抑制

流域圏のネットワーク強化

### プロジェクト2 【人と地球にやさしい地域づくりプロジェクト】

環状道路整備等による交通渋滞解消

環境負荷の小さい新物流システムの構築支援

交通先進モデル都市プロジェクト

沿道の環境改善

都市環境問題への対応

日本古来の自然環境を再生

## < 環境・景観 > 自然と共生する中部

具体的な向こう5 年の目標達成に資するプロジェクト（案）

### プロジェクト3 【4R(アール)実践プロジェクト】

循環型社会の構築

自然エネルギー等の有効活用

### プロジェクト4 【美しい中部づくりプロジェクト】

景観形成への取り組み

生活空間における憩い・安らぎ空間の拡充

## < 交流・連携 > 交流が活発な中部

日本のまんなかで、魅力があふれ、賑わいと活気ある中部を形成します。

- ・ 国内外の交流拡大と、地域間格差の是正
- ・ 更なる都市の魅力向上
- ・ 産業観光など独自の資源を活かした地域の魅力向上
- ・ 中部地方の国際的な魅力向上

### 前回提案の5つの目標を4つに再編

**目標** 人・モノ・情報の交流を拡大・活発化します。

**目標** 社会基盤整備で都市機能を高度化し、各地域の自立を促します。

**目標** 中山間地や農山漁村の地域力を向上し、各地域の自立を促します。

**目標** 独自の地域資源を活用し、観光など地域の魅力を向上します。

# < 交流・連携 > 交流が活発な中部

具体的な向こう5カ年の目標達成に資するプロジェクト（案）

目指すべき将来像		主なプロジェクト	交流・連携		
			活力・魅力あるまちづくりプロジェクト	農山漁村と中山間地応援プロジェクト	世界に誇る観光プロジェクト
具体的な目標			国際都市機能 交流機能 地域の自立	中山間地支援 連係機能 地域の自立	観光
			人・モノ・情報の交流を拡大・活発化します		
交流・連携	交流が活発な中部	社会基盤整備で都市機能を高度化し、各地域の自立を促します。			
		中山間地や農山漁村の地域力を向上し、各地域の自立を促します。			
		独自の地域資源を活用し、観光など地域の魅力を向上します。			



## < 交流・連携 > 交流が活発な中部

具体的な向こう5カ年の目標達成に資するプロジェクト（案）

### プロジェクト1 【活力・魅力あるまちづくりプロジェクト】

都市機能の強化

まちの賑わい創出への取り組み

広域交通を分担する高速交通網の整備・活用

潜在的な力を秘める「環日本海経済圏」と「中部圏」の連携強化

空港機能の充実

### プロジェクト2 【農山漁村と中山間地応援プロジェクト】

産業の創出に資する取り組み

安心して暮らせるための交通確保

交流を活性化する地域ネットワーク整備

空港機能の充実

## < 交流・連携 > 交流が活発な中部

具体的な向こう5 年の目標達成に資するプロジェクト（案）

### プロジェクト3 【世界に誇る観光プロジェクト】

#### 観光立国の推進

自然・歴史・文化を生かした中部の観光交流の拡大（産業観光など）

人々が交流することのできる交流拠点を形成

憩い、安らぎ空間の創出

市町村・住民と一体となった交流活動の拡大

魅力の発信強化

## <暮らし> 愛着の持てる中部

誰もがどこでも生き生きと快適に暮らせ、  
愛着を持てる中部を形成します。

- ・多様化するライフスタイルへの対応
- ・人口減少時代と少子高齢化の対応

### 前回提案の7つの目標を5つに再編

**目標** 子供がのびのびと安全に成長できる社会の実現をめざします。

**目標** 安全で住みやすい居住環境の実現をめざします。

**目標** 快適で安全に暮らせる生活圏の実現をめざします。

**目標** ユビキタスネットワーク社会に対応した情報提供を進めます。

**目標** 誇りや愛着を持てる協働・参加型の地域づくりを支援します。

# <暮らし> 愛着の持てる中部

## 具体的な向こう5カ年の目標達成に資するプロジェクト(案)

目指すべき将来像		主なプロジェクト	暮らし	
			住み続けたいくなる 地域創造 プロジェクト	国土マインドの醸成 プロジェクト
具体的な目標			暮らしの豊かさ	人の豊かさ
暮らし	愛着の持てる中部	子供がのびのびと安全に成長できる社会の実現をめざします。		
		安全で住みやすい居住環境の実現をめざします。		
		快適で安全に暮らせる生活圏の実現をめざします。		
		ユビキタスネットワーク社会に対応した情報提供を進めます。		
		誇りや愛着を持てる協働・参加型の地域づくりを支援します。		

## <暮らし> 愛着の持てる中部

具体的な向こう5カ年の目標達成に資するプロジェクト（案）

### プロジェクト1 【住み続けたいくなる地域創造プロジェクト】

公共施設のユニバーサルデザイン

暮らしに身近な問題解決への取り組み

交通安全対策

ユビキタスネットワークの構築

住宅・住環境の質的向上

人々が交流することのできる交流拠点を形成

憩い、安らぎ空間の創出

### プロジェクト2 【国土マインドの醸成プロジェクト】

自然教育の充実

森林から沿岸地域までの水・物質循環機能を再生構築

市町村・住民と一体となった交流活動の拡大

地域主体の地域づくり

# 概ね10年の中部地方の戦略（スタンス）

## 日本

### 【背景】

世界潮流

- ・アジア諸国の急成長
- ・国際競争の激化

少子高齢化に伴う人口減少

国土全体の過疎化

財政難

定住人口・  
交流人口の確保

### 【課題】

国際競争力の  
相対的な低下  
が懸念

社会資本への  
投資の制約増

個性ある  
地域づくりや  
活力や魅力の  
維持・向上  
が必要

迅速な対応が必要

真に必要なものを  
限定する必要性

狙いの明確化

単なる効率性ではなく、魅力を引き出す

# 概ね10年の中部地方の戦略（スタンス）

## 参考（諸外国の例）

### 【背景】

### 【戦略】

X国

- 【強み】・豊富な鉱物・燃料資源
- ・世界経済の覇権を握る
- 【弱み】・渋滞の深刻化に伴う経済ロス
- ・広大な国土

「効率性」「生産性」を重視し、強い国力の維持を標榜

Y圏

- 【強み】・複数国による市場統合
- ・多様性に富んだ産業
- 【弱み】・域内の地域間格差
- ・域内ネットワークのミッシングリンク

環境重視・地域間格差是正を重視し、調和のとれた圏域全体の発展を標榜

Z国

- 【強み】・安価で豊富な労働力
- ・強い政府（国策の進めやすさ）
- 【弱み】・社会資本整備の遅れ
- ・市場経済導入の遅れ

大規模なインフラの急進的な整備と、大胆な優遇制度により急速な経済発展を意図

強みを活かし、弱点を克服する戦略

# 概ね10年の中部地方の戦略（スタンス）

## 中部地方の戦略（中部地方の強みと弱み）

### 【わが国の強み】

- ・ 社会の安定性  
（治安の良さ、教育水準の高さ）
- ・ 技術力の高さ

### 【中部地方の強み】

- ・ 日本のまんなか
- ・ 卓越した産業集積
- ・ 分散型の地域構造
- ・ 豊かな自然環境

強みを活かし

### 【わが国の弱み】

- ・ 地震等大規模災害の発生率の高さ
- ・ 高コスト構造
- ・ 鉱物・燃料資源に乏しい
- ・ 人口減少・少子高齢化

### 【中部地方の弱み】

- ・ 自然災害が危惧される  
地形地質構造
- ・ 国内外の交通の要衝  
であり急所ともなり得る

弱みを克服



# 概ね10年の中部地方の戦略（スタンス）

## 中部地方の戦略

中部地方の強み

中部地方の弱み

国内外の連携軸強化  
による、国際的な産  
業競争力の発揮

災害に強く信頼性の  
高い安全・安心な圏  
域の確立

更なる、技術・知能・人・産業の集積へ

「愛・地球博」の理念を継承する  
環境先進地域の役割を最大限発揮へ

# 将来像を実現するための基本スタンス

国民にとって納得できる成果  
P D C Aサイクル による政策評価  
公共事業の過程の透明性

ソフト施策との連携  
トータルコストの縮減  
効率的・計画的な維持管理性

事業のスピードアップ  
計画・設計・管理毎の最適化  
調達の最適化

成果重視

既存ストック  
の徹底活用・  
長寿命化

だれもが安全で暮らし  
やすいまちづくり

効率性  
重視

7つの  
スタンス

ユニバーサル  
デザイン

技術力を重視  
総合的な技術開発

技術力・  
技術開発

新たな協働  
自助・共助・公助

ICT技術の  
活用

いつでも、どこでも、  
誰でも、今以上のサー  
ビスが実現できるICT技  
術を活用

多様な主体の取り組み  
民間の創意工夫、ノウハウを取り込む  
継続的な対話、情報の共有、信頼関係の強化

# 住民・企業・行政の地域づくりの役割（一例）

## 住民

### 本来求められる行動

- ・日常生活での環境配慮
- ・家庭内の防災対策
- ・景観や伝統を大切にすること
- ・交通法規遵守や安全運転 など

### 更なる行動の広がりへ

- ・地域の自主防災活動への参加
- ・被災後の復興支援活動への参加
- ・来訪者のもてなしや、ボランティアガイド など

## 企業

### 本来求められる行動

- ・グリーン調達など企業活動での環境配慮
- ・被災時の業務継続性の担保
- ・消費者、利用者ニーズにあったサービス提供 など

### 更なる行動の広がりへ

- ・災害時の復旧、救援活動への協力
- ・地域住民と協働した地域づくり支援
- ・技術開発等による社会的利益や自然環境保全への貢献
- ・社会資本の効率的な利活用推進 など

## 行政

### 行政の行動

- 国民への奉仕者である行政として、真に必要な社会資本整備などの他、
- ・住民、企業が各自の本来的な役割に基づく行動を促進する
  - ・住民、企業との協働を進め、市民・企業の公益的な活動を促進する